

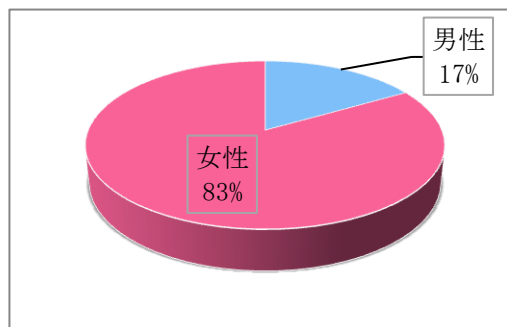
在宅緩和ケア渋川 市民公開フォーラムアンケート集計

日時 平成27年10月10日（土） 場所 渋川市中央（東部）公民館4F
 時間：13：30～15：30

参加者数	79	(人)	在宅緩和ケア渋川世話人会参加者数	26	(人)
回収数	66	※アンケート回収	中央公民館職員	3	(人)
回収率	84%				

①性別

○男性 17% ○女性 83%

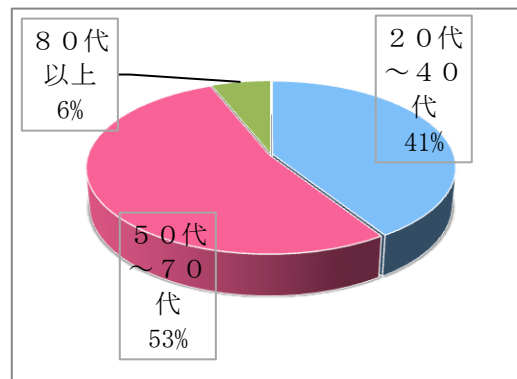


②年代

○20代～40代 41%

○50代～70代 53%

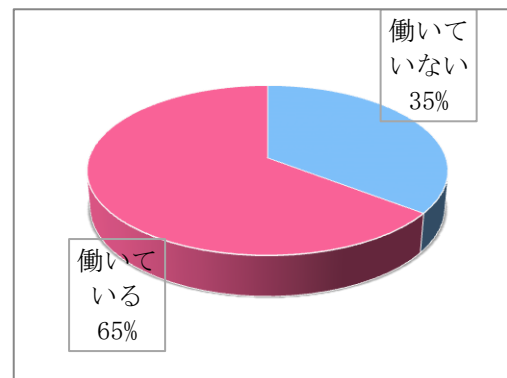
○80代以上 6%



③貴方のお仕事を教えてください

○働いていない 35%

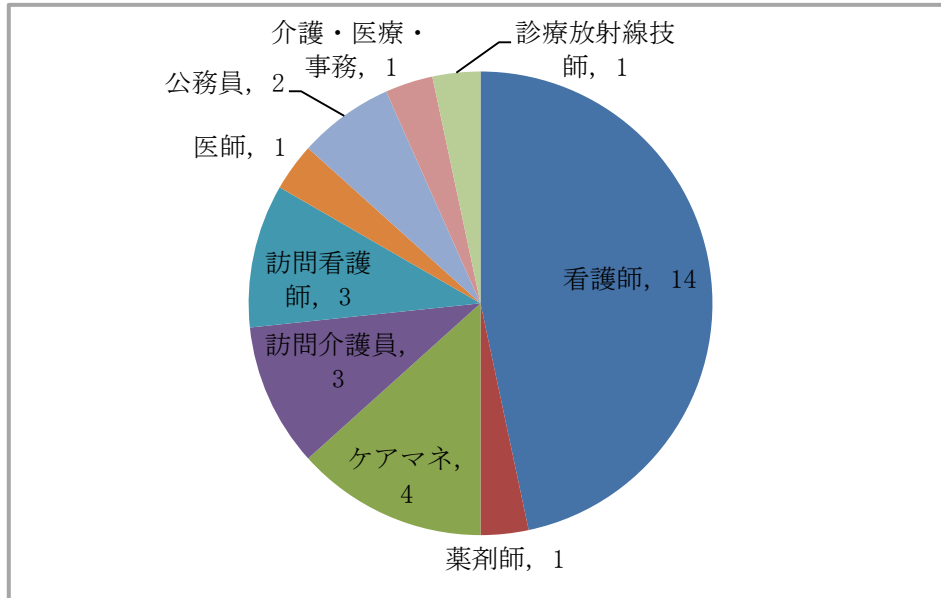
○働いている 65%



※職業記述次ページへ



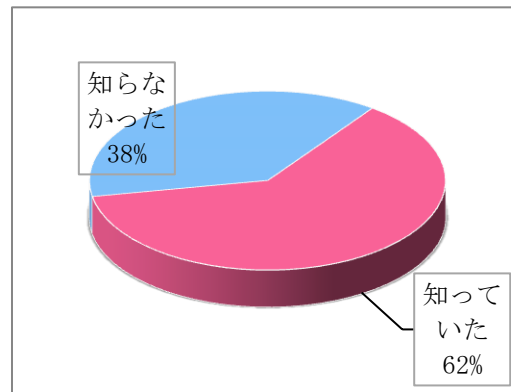
※職業記述統計表



※”働いている”より記載された職業を統計

④「在宅緩和ケア渋川」という有志の会があったことはご存じでしたか

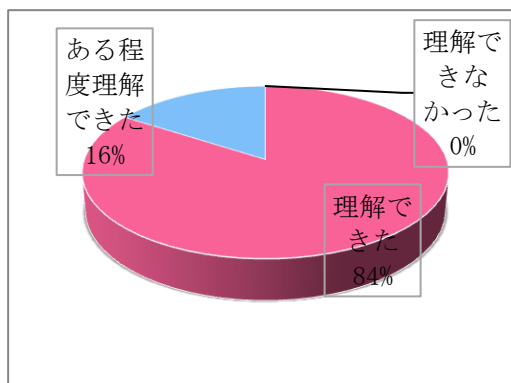
○知っていた	62%
○知らなかった	38%



⑤講演会「“もっと知ろう”、がん緩和ケア」については理解できましたか

※自由回答は、別紙参照 (⑤)

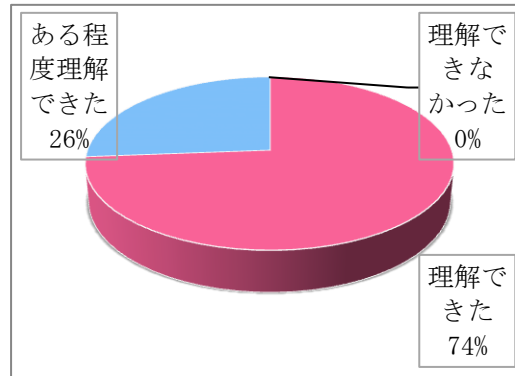
○理解できた	84%
○ある程度理解できた	16%
○理解できなかった	0%



⑥シンポジウム「私達にできること」については理解できましたか

※自由回答は、別紙参照 (⑥)

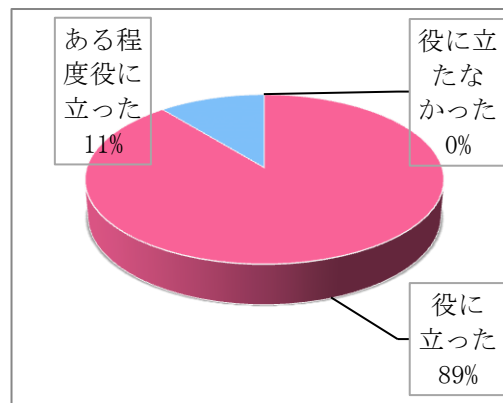
○理解できた	74%
○ある程度理解できた	26%
○理解できなかった	0



⑦今回の「市民公開フォーラム」は皆さんのお役に立ちましたか

※自由回答は、別紙参照 (⑦)

○役に立った	89%
○ある程度役に立った	11%
○役に立たなかった	0



⑤講演会「“もっと知ろう”、がん緩和ケア」については理解できましたか

- ・わかりやすかったと思う。
- ・いろんな地域の市民の会に出ているけど（講演しているの）今日はよかった。
- ・在宅緩和のことを説明を聞くことはありませんでした。いきなり緩和ケア病棟に入るという話でした。
- ・緩和ケアと終末期医療を混同していました。

⑥シンポジウム「私達にできること」については理解できましたか

- ・わかりやすかった。時間もよかった。
- ・在宅緩和ケアについて、今まで知らなかったのですが、家族として緩和ケア病棟入所を勧められました。家族として仕方なく言葉に従いました。

⑦今回の「市民公開フォーラム」は皆さんのお役に立ちましたか

- ・渋川を中心になっている人達の顔を知れた。
- ・とても聞きやすく参考になりました。ありがとうございました。
- ・市民の方も興味をもってくれているので、続けて欲しいと思いました。
- ・外泊にも訪看が使えるとは思わなかった。

⑧今後、在宅緩和ケアに関する事で「このようなことを知りたい」「このようなことを希望する」などありましたら、ご記入願います。

- ・24時間対応はできているのでしょうか？
- ・がんだけでなく、治せる病気にも緩和ケアはしてくれるのか？
- ・本人の思い、家族のおもいをどう一本化し対応に繋げているのか？
- ・とてもわかりやすい講演でした。麻薬、歯科診療、薬剤師の訪問など知らない人が多かったと思います。終末期の方々の選択肢が増えれば良いと思います。
- ・本人、家族の生の声もききたいです。
- ・なんとなく不安だとか、分からないことが解かれたように思います。
- ・小さい子が増えているので、小さい子のシステムもあることを知れてよかったです。
- ・緩和ケアがさいしょから？知らなかった。
- ・独居は無理でしょうね。もしもしたら生の声症例などもききたい。
- ・友人が、がんを患い緩和ケアのことも考えているようですが、緩和ケア病棟は高いし、心配していました。
もし入った場合の負担が予想される全額等（病室の料金とか）ある程度、提示してもらえると有難いのではと思いました。自分がそうなった場合もそうであれば有難いです。
- ・シンポジストに市民、看取りの経験のある家族など入れてみてはどうでしょうか？
家族、介護者のどんなことが困っているか明らかになるとよいと思う。渋川に足りない現状を知れるとよいと思います。主役は、市民、がん患者、家族であるので、今も高齢者がふえる中、仕事をして介護する家族、看取るには・・・等、課題があるかなと思う。

- ・在宅ケアの会に” 病院で過ごしたい、死にたい” 人が半数いた。その人達から話を聴きたいな。どういう気持ちなのだろう。
- ・緩和病棟の入所を説明される前に家族への説明が不足だったと思います。在宅緩和の制度もう少し早く、知りたかったです。我が家で手作りのスープを飲ませたかったです。
- ・病院の待合室等に在宅緩和ケア渋川の存在が有るということを知らせるポスターを貼り、もっと皆に知らせてほしいと思います。
- ・スライドの文字は大きい方が見やすい。
- ・講演の中で、外来から緩和ケアへつなげるという内容がありましたが、こちらで希望しても担当医が自分でやる（今の医師は緩和ケア研修を受けているので必要ない）のよういわれました。緩和ケアの道は険しいです。
- ・大変参考に（勉強に）になりました。ありがとうございました。
- ・有意義なフォーラムでした。活用できる事柄の確認ができ安心しました。
- ・介護保険の相談窓口等知らない人たちがたくさんいるので、紹介をしてほしい。
- ・医療との連携の仕方など。
- ・できるだけ自宅でと思っているが、「在宅＝家族」のような前提があり、夫婦二人の間はまだしも一人残された場合はどうなるのかとまだ不安定なところはある。肝臓がんの母の最期は施設＝病院でした。娘としてかなり呼ばれもしきつかったが、遠方に住む娘をあてにできない自分はどうなるか・・・その時の最期のやりかたを考えればと見通しが持てた気がする。
- ・がん緩和を主とするものですが、現在社会状況において高齢社会・認知症等の問題とする医療機関在宅への連携ができる地域づくりが必要と感じました。
- ・この在宅緩和ケア渋川会員の活動によりひろがっていくことを期待したいです。頑張ってください。
- ・患者・家族への心理的支援（サポート）→精神科医（心理士）より
- ・大変有意義なフォーラムでした。ありがとうございました。
- ・20年も前にはなかった言葉ですので、今はほんとうに良くなって居るとおもいます。
- ・費用について知りたい。